HOKUGA 北海学園学術情報リポジトリ
学校法人北海学園
北海学園大学
北海商科大学

タイトル	総索引・規定
著者	
引用	工学研究 ： 北海学園大学大学院工学研究科紀要(16)
発行日	2016-09-30

Hokkai-Gakuen Organization of Knowledge Ubiquitous through Gaining Archives.

北海学園大学大学院工学研究科紀要　工学研究　既刊号　総索引

■第１号（2001 年 9 月 28 日発行）

研究解説

・社会的価値観の変遷と都市形態の推移　五十嵐日出夫・鈴木聡士……　4
・環境騒音の評価に関する２つの国際共同研究　佐藤哲身……　15

研究報告

・研究論文

・鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究　杉本博之・村部剛史……　23
・道路橋の耐震設計における上下地震動の影響　当麻庄司・村上健志……　33
・雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究　久保　宏・上田真一……　43
・自律分散システムの局所ルールに基づく力学的構造の形態形成　佐々木康彦……　51
・鉄道駅における「駅らしさ」に関する基礎的研究　上浦正樹・竹澤晋一・臼井幸彦……　57
・エネルギー利用システムのエクセルギー解析に関する研究　谷口　博・手塚純一・野口　徹・鵜飼隆好……　67
・Improvement in durability of concrete by special chemical admixture　Masashi SUGIYAMA……　73
・コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究　杉山　雅・佐々木良滋……　83
・低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究　杉山　雅・河合康晴……　91
・マイクロ波加熱養生法を応用したコンクリート強度の早期判定に関する基礎的研究　杉山　雅・佐藤　豪……　97
・多重プログラム型人工生命 Tierra によるプログラムの進化　菊地慶仁・桃内佳雄・清水裕輔……101
・両眼立体視刺激における事象関連電位：等価電流双極子解析による検討　齋藤正明・山ノ井髙洋・大西真一・山崎敏正・村上新治……111
・ウエーブレット解析における Mallat アルゴリズムの行列表現　髙井信勝……117
・遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法の性能評価　木村泰知・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次……125

・研究ノート

２次方程式，連分数，フィボナッチ数列そして特殊関数　吉田文夫……133

■第２号（2002 年 9 月 27 日発行）

研究解説

・情報革命の先駆者：トーマス・エジソン ── 現代的意義 ──　朝倉利光……　3
・回折現象とアポデゼィション ── 回顧録 ──　朝倉利光……　9
・道路・鉄道で用いられる粒状材料の剛性に関する研究　上浦正樹・皆木孝英……　17

研究報告

・研究論文

・意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究　米谷一心・鈴木聡士・五十嵐日出夫……　25
・AHP における相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究　盛　亜也子・鈴木聡士・五十嵐日出夫……　33
・北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究　小川直仁・鈴木聡士・五十嵐日出夫……　43
・縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究　鈴木聡士・五十嵐日出夫……　51
・廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究　武市　靖・氏家伸孝……　59
・デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究　武市　靖・平河内雄也……　69
・橋梁点検及び北海道型簡易 BMS の実橋への適用について　杉本博之・後藤　晃……　81
・ウェーブレットによる軌道狂い波形解析に関する基礎的研究　上浦正樹・児玉健太郎・植木基晴……111
・コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験　杉山　雅・鈴木康宏……119
・寒冷地における住宅換気システムの諸問題と対策に関する研究　佐々木博明・佐藤勝利……125
・異なる評定尺度で得られた鉄道騒音に対する社会反応の比較　佐藤哲身・根本昭宏……135
・アイヌ語・日本語機械翻訳のための基礎的研究　桃内佳雄・大友雄介・越前谷　博……143
・左右視野に提示された単語の大脳での優位性　山ノ井髙洋・大西真一・山崎敏正・Jean-LouisVercher……153
・高強度非回折性スペックルの生成とその移動量計測への応用　魚住　純・敦賀智志……165
・デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究　三船雄都・髙井信勝……173

■第 3 号（2003 年 9 月 12 日発行）

研究解説
・発明発見の条件 ── ホログラフィーの父デニス・ガボールの生涯にみる ──　朝倉利光……　3
・建築物設計用雪荷重評価に供するための屋根雪分布の測定と予測手法の開発に関する共同研究　桜井修次……15
研究報告
・研究論文
・コンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計　杉本博之・佐々木利健……23
・空港舗装におけるブリスタリング現象とその対策工法に関する研究　久保　宏・金岡優樹……33
・CFRP シートで下面補強された RC はりの曲げ挙動について　高橋義裕・丸山興治……41
・路面テクスチャの違いが凍結抑制効果に与える影響に関する検討　武市　靖・田近裕善……53
・An effective method for the turnout maintenance using wavelet analysis　Masaki Kamiura・Motoharu Ueki……65
・地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究　佐々木康彦・川口靖範……71
・確率論的アプローチに基づく主成分解析法による被災地検出　串山　繁・篠塚正宣……79
・アイヌ語―日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について
加藤大樹・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次……89
・再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム
中岡芳彰・越前谷博・荒木健治・桃内佳雄・栃内香次……97
・非回折性フラクタルビームの生成可能性について　魚住　純・三橋　亮……103
・奥行き認知と痴呆との関連についてⅡ　豊島　恒・山ノ井高洋・村上新治・池田　望・宮澤仁朗……111

■第 4 号（2004 年 9 月 10 日発行）

研究解説
・廃棄タイヤの建設資材への再利用に関する研究　久保　宏……　3
・コンクリートを使用した超高層建築物の近年の発展　桑原隆司……13
研究報告
・研究論文
・軌道狂いと列車動揺の波形に対するウェーブレット解析の適用に関する基礎的研究　上浦正樹・植木基晴……23
・安定-不安定非線形格子における孤立波動解の挙動に関する研究　吉田文夫……31
・RBF の利用による鋼製橋脚の最適耐震設計システムについて
杉本博之・名畑信宏・阿部淳一・荒川雅生・古川浩平・渡邊忠朋……35
・地中熱融雪システムの適用を考慮した歩道用タイル舗装の付着強度と力学的挙動に関する
実験的研究　武市　靖・荒木拓也……47
・フレッシュコンクリートの単位水量を測定する各種測定法に関する研究　杉山　雅・白戸正宏……55
・視差の異なるランダムドットステレオグラム視覚刺激に対する脳内処理過程とその潜時の比較
豊島　恒・山ノ井高洋・山崎敏正・大西真一……63
・Correlation and dimensional properties of clipped fractal speckle
Hideki Funamizu・Jun Uozumi・Yasumasa Tsukuda……71
・面散乱体による光散乱場の空間的位相分布のフラクタル性　魚住　純・小川忠伸……79

■第 5 号（2005 年 10 月 1 日発行）

研究解説
・自律移動ロボットの自己位置認識　深谷健一……　3
研究報告
・研究論文
・Elastic Wave Measurement System Using FWD for Asphalt Pavement
Masaki Kamiura・Shingo Nakayama・Qinxi. Dong……11
・履歴構造系の地震時エネルギー応答特性と杭基礎・地盤の連成効果　佐々木康彦……19
・北海道における GIS と Winter Index による路線別の道路雪氷管理の評価検証　武市　靖・植村正人……29
・道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と
整備基準の集約化について　須田邦昭・三浦孝宜……41
・レーザポインタ付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用
成田秀樹・赤坂健悟・坂口祐樹・深谷健一……51

・小型自律移動ロボット Khepera に搭載した CCD カメラ画像を用いた走行支援
豊島　恒・山ノ井髙洋・藤原勇太・大西真一…… 57
・Singularity spectrum analysis of scattered laser light　Hideki Funamizu・Jun Uozumi…… 63
・４面体２次要素およびスカイライン法を用いた有限要素法のプログラミング
およびシミュレーション　松崎博季・元木邦俊…… 73
・CENTER モデルによる日本語ゼロ代名詞解析に関する基礎的考察　桃内佳雄・柴田更紗…… 85
・研究資料
・超一様分布列の生成方法　串山　繁…… 93

■第６号（2006 年９月 28 日発行）

研究報告
・研究論文
・曲げ荷重を受ける RC はりに対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究　高橋義裕・佐藤正務…… 3
・適合ベクターマシンのパラメータに関する基礎的考察　串山　繁…… 11
・日本語の敬語表現の脳内処理部位について　菅野道夫・山ノ井髙洋…… 17
・加算結果に対する正解選択と近似選択時の時空間的脳活動推移
山ノ井髙洋・藤原勇太・豊島　恒・大西真一・菅野道夫・サンシェーズ　エリー…… 33
・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース　深谷健一・山田暁人・佐々木政年…… 39
・物語文章における省略に関する基礎的考察　桃内佳雄・柴田更紗…… 45

■第７号（2007 年９月 28 日発行）

研究解説
・斥力相互作用する１次元格子の波動伝播の数値解析　吉田文夫…… 3
研究報告
・研究論文
・強震動を受ける履歴構造―杭基礎・地盤連成系の履歴吸収エネルギー分担率　佐々木康彦・髙橋賢司…… 11
・IMPROVEMENT OF IN-SITU STIFFNESS MEASURING USING PORTABLE FWD　Masaki KAMIURA…… 21
・形状ベースパターンマッチングを利用する自律移動ロボットのビューベースド航法
深谷健一・鎌田誠一・菅原匡貴…… 29
・アイヌ語・日本語機械翻訳のための場所表現に関する基礎的考察　桃内佳雄・安曇恭徳…… 35
・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェイスの基礎研究
山ノ井髙洋・豊島　恒・大西真一・山﨑敏正・菅野道夫…… 43
・FFT による２次元画像の非整数次微分処理（Ⅰ）── １次元導関数 ──　魚住　純…… 49
・FFT による２次元画像の非整数次微分処理（Ⅱ）── ２次元導関数 ──　魚住　純…… 61

■第８号（2008 年９月 28 日発行）

研究解説
・棒部材の構造安定問題 ── 梁と柱と梁柱の違い ──　当麻庄司…… 3
・風洞実験手法による建築物の屋根雪偏分布形状の推定について　桜井修次・阿部　修・城　　攻…… 11
研究報告
・研究論文
・グルービング系凍結抑制舗装の凍結抑制効果に関する研究　田中俊輔・武市　靖…… 19
・Exact Solutions of a Difference-Difference Nonlinear Equation with the mKdV Type Soliton
Fumio Yoshida・Kenji Seto…… 33
・手ジェスチャを用いた移動ロボットの直感的動作指示インタフェース（第２報）
深谷健一・渡部　敦・佐藤俊輔・斉藤大起…… 41
・Micro Robot Control by EEG on Mental Translation with Directional Symbols
Takahiro Yamanoi・Hisashi Toyoshima・Toshimasa Yamazaki・Michio Sugeno…… 47
・層指定検索ツールの開発　安曇恭徳・桃内佳雄…… 53
・多色光照射によるフラクタルスペックル ── 計算機シミュレーション ──　魚住　純…… 63

■第 9 号（2009 年 9 月 30 日発行）

研究解説
・音声生成系の放射過程のモデルについて　元木邦俊…… 3
研究報告
・研究論文
・教育用「コンクリート構造物の温度・強度解析システム」の有効性の検討　桑原隆司・前田大輔・劉宏涛…… 15
・右上前頭回からの脳波出力を用いたブレイン・マシン・インターフェイスの基礎研究Ⅱ
山ノ井髙洋・森高篤司・高柳　浩・大西真一・山﨑敏正・菅野道夫・野中秀俊…… 21
・非整数次微分を用いたアンシャープマスクによる画像鮮鋭化　魚住　純・泉　晴佳…… 27
・アイヌ語・日本語対訳データのための検索・ツールと解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用
安雲恭徳・桃内佳雄…… 37

■第 10 号（2010 年 9 月 30 日発行）

研究報告
・研究論文
・CS 分析を活用した札幌都心の質的満足度評価　鈴木聡士・沼田真吾…… 3
・屋根面の風圧分布特性に基づく建築物設計用屋根雪偏分布形状の推定　桜井修次・阿部　修・城　攻…… 9
・丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応　佐藤哲身・菅谷知定・横山隆介…… 15
・古蠟管からの画像工学的音声再生　魚住　純・前田尚範・吉田拓馬…… 23
・心的負荷が脳波律動に及ぼす影響　平田恵啓…… 33
・アイヌ語地名構成要素解析のための辞書と解析ツールの構成　桃内佳雄・小林亮介…… 39
・SPATIOTEMPORAL BRAIN ACTIVITIES DURING HIRAGANA RECOGNITION TASK
Hisashi Toyoshima・Takahiro Yamanoi・Toshimasa Yamazaki・Shin-ichi Ohnishi…… 51

■第 11 号（2011 年 9 月 30 日発行）

研究報告
・研究論文
・Optimum Girder Height and Minimum Sectional Area of Highway Composite Girder Bridge
Shouji Toma・Jun-ya Maeda…… 3
・平板載荷試験と小型 FWD によるせん断抵抗角の評価法の提案　上浦正樹…… 15
・凍結路面のすべり抵抗特性および凍結抑制効果の定量的評価方法に関する研究
田中俊輔・武市　靖・増山幸衛・高橋尚人…… 25
・恵庭農畜産物直売所「かのな（花野菜）」の成立過程と事業実態
── 北海道における都市近郊農業の展開に関する事例研究 ──　岡本浩一・藤井貴弥…… 39
・An encryption technique by digital holography　Nobukatsu Takai…… 47
・モード展開法を用いた声道モデルにおける損失の評価　坂尻勇人・元木邦俊…… 55
・FFT による 2 次元画像の非整数次積分処理（Ⅰ）── 1 次元積分 ──　魚住　純・鈴木宏司…… 65
・FFT による 2 次元画像の非整数次積分処理（Ⅱ）── 2 次元積分 ──　魚住　純・鈴木宏司…… 77

■第 12 号（2012 年 9 月 30 日発行）

研究報告
・研究論文
・Shakedown を考慮した小型 FWD による粒状材の剛性評価に関する研究　上浦正樹…… 3
・Generation of fractal speckles in image plane and their
application to the measurement of displacement　Eita Miyasaka・Jun Uozumi…… 13
・SIFT を用いた特定物体認識の高速化と移動ロボットによる物体ハンドリングへの応用　塩濱教幸・深谷健一…… 25
・タブレット端末での使用を考慮した 3 D オブジェクト操作 UI の開発　菊地慶仁…… 31
・活動報告
・子ども，大学生，実務者の交流を通じたまちづくり人材育成を目指す取組み
── まちの宝探しワークショップ実践事例報告 ──　岡本浩一・大場眞一・森　哲子・能戸裕之・瀧田展明…… 37
・研究ノート
・南カリフォルニア大学情報科学研究所での在外研修報告　越前谷　博…… 47

■第 13 号（2013 年 9 月 30 日発行）

研究報告

・研究論文

・鉄まくらぎの荷重分散特性に関する研究　上浦正樹…… 3
・アニマルセラピー導入の医療費削減効果分析　鈴木聡士・櫻本真奈美…… 9
・実在 RC 造建物の確率論的地震時損傷評価　串山　繁・髙橋泰弘…… 17
・３台の Kinect を搭載した移動ロボットによる特定物体のハンドリング　健名裕希・郡司佑輔・深谷健一…… 25
・距離画像を用いた物体形状認識と移動ロボットによるハンドリングへの応用　塩濱教幸・深谷健一…… 33
・同音漢字想起時におけるヒト脳内活動部位の時空間推定Ⅲ　山ノ井髙洋・田中良典・豊島　恒・大槻美佳…… 41
・多視点裸眼立体視ディスプレイの遠近感覚測定への応用（第 4 報）　菊地慶仁…… 47
・機械翻訳システムのための自動評価システムの提案とその性能評価　越前谷　博・荒木健治…… 53
・エリアイメージセンサの部分読み出しによる蠟管の音再生　魚住　純・三上　亮…… 61

■第 14 号（2014 年 9 月 30 日発行）

研究報告

・研究論文

・小型 FWD による接地圧の簡易な推定方法に関する研究　上浦正樹…… 3
・赤外 LED アレイを用いた AR（拡張現実感）用マーカーの開発　菊地慶仁…… 9
・WMT2012 データと WMT2013 データにおける機械翻訳のための自動評価法の性能について
越前谷　博・荒木健治…… 13
・Spatiotemporal Human Brain Activities on Recalling Body Names
Takahiro YAMANOI・Yoshinori TANAKA・Mika OTUKI・Shin-ichi OHNISHI
Toshimasa YAMAZAKI・Michio SUGENO…… 23

■第 15 号（2015 年 10 月 30 日発行）

研究報告

・研究論文

・日本の沿岸部全域を考慮した簡易津波ハザードマップの構築　串山　繁…… 3
・Preprocessing of Electroencephalograms by Independent Component Analysis for
Spatiotemporal Localization of Brain Activity　Takahiro YAMANOI, Shin-ich OHNISHI, Yoshinori TANAKA
Hisashi TOYOSHIMA and Toshimasa YAMAZAKI…… 15
・手持ちスクリーンへのリアルタイムプロジェクションマッピングシステムの開発　菊地慶仁・上山　凌…… 21
・感圧紙を用いた小型 FWD による路盤の変形係数推定法に関する研究　上浦正樹…… 27
・評価基準内部従属構造を持つ階層分析法のファジィウェイト表現　大西真一・山ノ井髙洋…… 37

大学院修了者と論文題目一覧

- 博士（後期）課程
- 修士課程

博士（後期）課程

2016年 3 月修了者

建設工学専攻　廣田　誠一　　指導教授　佐藤　哲身

論文題目：枠組壁工法床の重量床衝撃音遮断性能の向上と評価に関する研究

木造住宅の床衝撃音遮断性能の向上に関する研究は古くから行われているが，実際の住宅への普及は進まず，現在に至ってもその性能は充分とは言えない状況である．住宅性能表示制度を利用することが多い木造公営住宅は，コンクリートスラブ厚 11 cm 程度の性能を有しているが，民間賃貸共同住宅はより性能が劣ると考えられる．木材の利用促進の動きの中で，木造共同住宅の床衝撃音遮断性能を向上させることは重要な課題である．

本研究の目的は，技術的に性能向上が難しい「重量床衝撃音」と構造的に対策が難しい「枠組壁工法」を対象に，次に示す二つの課題の究明と提案を通して，枠組壁工法床の重量床衝撃音遮断性能の向上と評価方法の確立に資することである．

1）技術的課題の解明と具体的な工法の提案

2）主観評価に基づく適切な評価方法の提案

はじめに，技術的課題を解明し，有効な工法を提案するために，種々の工法の効果を実験により比較検討した．そのなかで，枠組壁工法床に乾式二重床構造を施工し，面材部分の駆動点インピーダンスを増加させることにより，重量床衝撃音遮断性能が大きく向上することを示した．また，性能を確保するために有効な端部の納まりや乾式二重床構造脚部の位置などを示した．これらをまとめ，鉄筋コンクリート造床に見合った性能を確保するための具体的な工法を示した．

次に，重量床衝撃音の主観的印象（気になる程度）を適切に評価するための方法を明らかにするため，音響心理実験を行った．著者や他の研究者による既往の研究に基づき，実用的に評価指標として用いられている L 数よりも他の評価指標の方が主観評価との相関が高いこと，乾式二重床構造はタイヤ衝撃源よりも衝撃力の小さいゴムボール衝撃源を用いた場合に有効性を増すことを示した上で，ゴムボール衝撃源で加振した際の床衝撃音を実験音として収録し，主観評価実験を行った．その結果，構造や工法の異なる種々の床構造のなかで，乾式二重床構造を施工した枠組壁工法床がスラブ厚 15 cm の鉄筋コンクリート造床よりも「気になる程度」が小さいこと，主観評価との相関はラウドネス最大値，最大 A 特性床衝撃音レベル，L 数の順に高いことなどが分かった．これらの結果から，枠組壁工法床の重量床衝撃音の評価を行う際はゴムボール衝撃源を用いること，また，実用的見地から評価指標は最大 A 特性床衝撃音レベルを用いることを提案した．

2012年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
田中　俊輔	凍結路面における路面露出率に着目したすべり抵抗特性に関する研究	武市　　靖

2008年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
阿部　淳一	RBF ネットワークによる最適耐震設計と地震リスクを考慮した目標設計地震動強度算定に関する研究	杉本　博之
電子情報工学専攻		
船水　英希	Generation and analysis of speckle intensity distributions with fractal properties （フラクタル性を有するスペックル強度分布の生成と解析）	魚住　　純

2006年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
電子情報工学専攻		
豊島　　恒	視覚刺激観察時および認知時における脳内高次情報処理過程のモデル化に関する研究	山ノ井髙洋

2002年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
鈴木　聡士	縮約階層分析理論の構築と都市・交通環境の評価に関する研究	五十嵐日出夫
渡邊　忠朋	鉄筋コンクリート構造物の耐震性能照査法と最適化手法を用いた耐震設計システムに関する研究	杉本　博之
電子情報工学専攻		
齋藤　正明	両眼立体視・ファジィ計算における脳内高次処理機能に関する研究	山ノ井髙洋

2000年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
電子情報工学専攻		
笹岡　久行	機械翻訳における帰納的学習を用いた辞書未登録の訳語推定手法に関する研究	桃内　佳雄

1999年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
手塚　純一	木質構造と室内環境に関する CAD システムの研究	谷口　　博

1998年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
田村　　勇	寒冷地向けヒートポンプシステムに関する研究	谷口　　博
電子情報工学専攻		
高柳　　浩	対象の特徴を考慮した画像認識の研究	山ノ井髙洋
古澤　正三	三次元有限要素法を用いたヒト下腿骨内応力解析とそれによる人工膝関節脛骨コンポーネント形状の評価	山ノ井髙洋

修士課程

2016年 3 月修了者

建設工学専攻（社会環境系）　中村　紘喜　　指導教授　鈴木　総士

論文題目：エゾシカによる社会的損失価値の推計と新対策システムの提案

本研究は，エゾシカ駆除の社会的効果を定量的に明らかにするために，仮想評価法を用いて，北海道内の自生植物の損失価値を推計した．また，JR が公表している各種データから，鉄道線路内へのエゾシカ侵入に伴う列車遅延による乗客の時間的損失価値を明らかにした．これらの損失価値に，すでに定量化されている農業被害や交通事故被害の経済的価値を統合して，エゾシカ対策の社会的効果を定量的に明らかにした．

これらの分析結果に基づき，エゾシカ資源の効率的な利用促進とハンターへの報酬増を目的とした新対策システムを提案した．

また，仮想評価法において，独立性の検定とクラスター分析を活用した，調査結果の妥当性に関する新たな検証方法を提案した．

建設工学専攻（建築系）　山崎　貴生　　指導教授　米田　浩志

特定課題研究題目：解かれる境界　コウエンと繋がる暮らし
～街区公園を取り巻く北海道における新たな建築作品の具体的提案～

長い歴史の中で，公園の規模や機能は時代と共に変化してきた．今回注目する街区公園もその一つであり，人々の生活と密接に関わる空間であった．しかし，近代化の進んだ現代社会において，人々のライフスタイルは目まぐるしく変化し続けているため，街区公園と人々の生活との間にズレが生じてしまっている．パッケージ化された公園が完結した状態で配置されているのだ．その結果，街区公園は本来の機能を失いかけ，無用性を印象付ける空間として残っている．これらの原因として，特に北海道においては気候風土の関係により，外部と内部，また公と私の関係性を構築する建築的操作が消極的であり，公園とその周辺環境に見えない境界が存在していることが挙げられる．以上より，今回の修士特定課題研究では北海道の建築形式，さらには建築を構成する主要な要素である，基礎，壁，窓，屋根に注目し，街区公園を取り巻く環境においてそれらの要素のあり方を考え直すことで，新たな関係性を持つ建築空間を設計提案する．

2015年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
工藤　正行	北海道および道内市町村の橋梁維持管理体制と課題に関する研究	杉本　博之
若月　唯大	強震動を受ける構造物―杭基礎・地盤連成系のエネルギー応答特性における動的相互作用の効果および損傷度評価と降伏強度比の影響	佐々木康彦

2014年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
田湯　文将	粗面系舗装における凍結路面および凍結防止剤散布後の工学的特性に関する研究	武市　　靖
髙橋　慶多	新たな家族像に対応する住居形式の提案 ―北海道における屋根形状の歴史的変遷をふまえて―	米田　浩志
電子情報工学専攻		
塩濱　教幸	複数センサを併用した空間計測・特定物体認識と移動ロボット・ハンドリングへの応用	深谷　健一
田中　良典	提示画像認知時および名称等想起時のヒト脳内活動部位の推定	山ノ井髙洋
古川　貴司	不完全混合データのファジィクラスタリングに関する研究	大西　真一
宮川　純輝	放射音響パワーに基づく３次元音響管の伝達特性評価法に関する研究	元木　邦俊

2013年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
亀山　初基	流出成分に対応したタンクモデル未知定数推定法に関する研究	嵯峨　　浩
斉藤　優太	観光地域選択モデルの構築とLCC導入の経済波及効果分析に関する研究	鈴木　聡士
澁谷　直隆	実データに基づく地方公共団体の橋梁長寿命化計画の最適化に関する研究	杉本　博之
髙橋　泰弘	RC造建物の確率論的地震時損傷評価に関する研究	串山　　繁

2012年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
伊藤　彰宏	DEAを活用した空港の経営・ポテンシャル発揮効率評価に関する研究	鈴木　聡士
齋藤　　唯	シェイクダウンの概念による地盤の剛性評価に関する研究	上浦　正樹
竹口　祐二	合併効果分析モデルの構築と北海道における広域行政に関する研究	鈴木　聡士
阿部　一樹	寒冷地におけるゼロエネルギー住宅の可能性の検討と年間のエネルギー収支に関する研究	佐々木博明
中村　　徹	東北地方太平洋沖地震の観測波を用いた構造モデルの振動特性に関する研究	桜井　修次
電子情報工学専攻		
菊地　祐也	モード展開法とFDTD法による管内音場の可視化に関する研究	元木　邦俊
齋藤　達彦	ANPにおけるファジィ数ウェイトの研究 ～対比較行列の感度分析結果を用いた超行列要素～	大西　真一
杉山　懐吾	人間と移動ロボットとのインタラクションに関する研究 ―手ジェスチャ指示と人間追尾走行―	深谷　健一
高川　昂太	母音発話時の頸部皮膚振動の非接触測定に関する研究	元木　邦俊

2011年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
猪股　賢大	グルービング系凍結抑制舗装における凍結抑制材の工学的特性と現場適用性に関する研究	武市　　靖
桑野　基史	静的載荷と動的載荷による地盤の挙動に関する研究	上浦　正樹
沢江　和樹	振動台実験による骨組構造模型の浮き上がり減振効果の検証	当麻　庄司
藤井　貴弥	恵庭農畜産物直売所「かのな（花野菜）」の成立過程と事業実態 ―北海道における都市近郊農業の展開に関する事例研究―	岡本　浩一
蔡　　薇	ユニバーサル・デザインの視点からみた北京のまちに関する考察 ―北京市と札幌市を事例とした現状比較を通じて―	岡本　浩一
電子情報工学専攻		
坂尻　勇人	モード展開法を用いた声道モデルにおける損失の評価に関する研究	元木　邦俊
佐藤　高雄	母音発話時の皮膚振動による放射音声の特徴計測に関する研究	元木　邦俊
三上　　優	格フレーム辞書の自動構築に向けた多言語間名詞句対の自動抽出手法について	桃内　佳雄

2010年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
齋藤　善之	劣化進行の不確実性を考慮した橋梁の最適補修計画に関する研究	杉本　博之
千葉　和広	不飽和土の凍上過程における吸排水速度に関する実験的研究	小野　　丘
前田　淳哉	道路橋単純合成桁のベンチマークによる諸外国の設計比較に関する研究	当麻　庄司
菅谷　知定	丘珠空港周辺の航空機騒音に対する社会反応構造の分析	佐藤　哲身

2009年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
阿部　雅寿	小型 FWD と平板載荷装置における地盤剛性評価の比較に関する研究	上浦　正樹
一間　恵伍	SVM による公共構造物の総合的健全度評価に関する基礎的研究	杉本　博之
佐藤　直樹	たたみ込み理論の RBF ネットワークへの導入による復旧性を考慮した最適耐震設計の手法に関する研究	杉本　博之
田中　俊輔	グルービング系凍結抑制舗装の工学的性質と凍結抑制効果に関する研究	武市　　靖
藤田　　匠	寒冷地における住宅の暖房・給湯用エネルギー低減に関する研究	佐々木博明
横山　隆介	丘珠空港周辺における航空機騒音の住民への影響に関する研究	佐藤　哲身
電子情報工学専攻		
安曇　恭徳	アイヌ語・日本語対訳データのための検索・解析ツールの開発と機械翻訳システムへの応用	桃内　佳雄

2008年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
嶋田　泰丈	道路交通法の改正による路上駐停車行動の変化に関する調査研究	堂柿　栄輔
高橋　賢司	履歴構造物―杭基礎・地盤連成系の強震時エネルギー応答特性に関する研究	佐々木康彦
高橋　朋也	複合型凍結抑制舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究	武市　　靖

横井　　潤	水文確率分布モデルの適合度と信頼性の評価指標に関する研究	許士　達広
渡邊　良崇	鉄道における軌道狂いの復元波形に関する研究	上浦　正樹
伊藤　新治	風洞実験手法による屋根雪の偏分布形状に及ぼす屋根面の風圧分布特性の影響に関する基礎的研究	桜井　修次
蝦名裕次郎	寒地住宅における土中採熱ヒートポンプ温水暖房の COP 向上に関する研究	佐々木博明
大山　真弘	水セメント比の異なるコンクリートの凍結融解抵抗性に及ぼす中性化条件の影響に関する実験研究	杉山　　雅
前田　大輔	寒中コンクリートの品質予測・管理方法の現状調査とパソコンによる解析システムの有効性の検討	桑原　隆司

2007年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
大熊　佑治	Wavelet 解析を用いた鉄道における波形解析とその応用に関する研究	上浦　正樹
原田　将希	空港滑走路のコンクリート舗装におけるポップアウト現象に関する研究	久保　　宏
酒井　陽介	パーソナルスペースの視点による駐車位置選定行動の分析	堂柿　栄輔
電子情報工学専攻		
坂口　祐樹	レーザポインタ付き赤外線リモコンを用いた移動ロボットの動作指示とその応用 ―人間追尾とレーザポインタ照射点への移動―	深谷　健一
柴田　更紗	日本語文章におけるゼロ代名詞解析のための CENTER アルゴリズムに関する研究	桃内　佳雄
藤原　勇太	加算結果に対する正解選択と近似選択時の脳内処理部位の時空間的推移に関する研究	山ノ井髙洋

2006年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
植村　正人	北海道における GIS を用いた Winter Index による路線別の道路雪氷管理評価	武市　　靖
佐藤　正務	曲げ荷重を受ける RC 梁に対する CFRP シートの補強効果に関する実験的研究	高橋　義裕
松田　謙治	ゴムロールド舗装の工学的性質と路面凍結抑制効果に関する研究	武市　　靖
山田　俊則	森林小流域における主要溶存成分の物質収支と流出機構に関する基礎的研究	余湖　典昭
高橋　哲也	都市の音環境の空間的変動評価に関する研究	佐藤　哲身
山口　雄大	道内建築家の現状分析と住空間モデルの提案	米田　浩志

2005年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
阿部　淳一	RBF による設計許容領域の境界曲面近似と RC 橋脚の最適耐震設計への応用に関する研究	杉本　博之
阿部　裕介	岩石および岩石モデルの凍上性と物理的性質に関する研究	小野　　丘
伊藤　孝浩	多孔質弾性舗装の工学的特性と凍結抑制効果に関する研究	武市　　靖

工藤　好騎	寒冷地舗装の凍上被害とその対策に関する研究	久保　　宏
中山　真吾	動的載荷による地盤応答に関する基礎的研究	上浦　正樹
三浦　孝宜	道内自治体における『福祉のまちづくり条例』の制定状況に関する一考察と整備基準の集約化について	須田　邦昭
和田　義弘	寒冷地住宅における空気熱源ヒートポンプ暖房に関する基礎的研究	佐々木博明

電子情報工学専攻

船水　英希	べき則強度照射された散乱体によるスペックルのフラクタル的諸特性	魚住　　純

2004年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
赤泊　和幸	公共投資の経年的シナリオと橋梁健全度の推移に関する研究	杉本　博之
植木　基晴	ウェーブレット解析による軌道狂いが列車動揺に与える影響評価に関する研究	上浦　正樹
上畑　一樹	人工地盤を用いた小型 FWD による地盤の剛性評価に関する研究	上浦　正樹
大井　元揮	満足度調査による流雪溝の利用者意識に関する研究	上浦　正樹
亀海　貴寛	高強度材料を用いる RC 橋脚の最適耐震設計に関する研究	杉本　博之
田近　裕善	アスファルト舗装路面テクスチャの違いによる凍結防止剤の散布効果に関する研究	武市　　靖
堤　　洋介	寒冷地空港舗装の温度特性とグルービング工法に関する研究	久保　　宏
名畑　信宏	統合化システムによる鋼橋の最適耐震設計と RBF の応用に関する研究	杉本　博之
本間　裕介	地中熱融雪システムにおけるコンクリート舗装体の力学的挙動に関する研究	武市　　靖
白戸　正宏	The research on measurement accuracy of water content of fresh concrete. （フレッシュコンクリートの単位水量の測定精度に関する研究）	杉山　　雅
高岡慎一郎	幹線道路沿いの植樹帯の騒音と居住環境への効果に関する研究	佐藤　哲身
藤原　大介	Study on コンクリートの複合パネルの曲げ耐力 （実験値と FEM を用いた計算値との比較について）	谷　　吉雄

2003年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
佐々木利健	新道路橋示方書（H 14 改訂）に基づくコンクリート充填鋼製ラーメン橋脚の最適耐震設計に関する研究	杉本　博之
中野　大志	北海道の橋梁の LCC モデルの構築と維持管理計画に関する研究	杉本　博之
川口　靖範	地盤連成を考慮した履歴構造系の地震時エネルギー応答特性に関する研究	佐々木康彦
白井　良明	動的相互作用を考慮した構造物―杭基礎・地盤連成系の地震波伝達性状に関する研究	佐々木康彦
大石　浩晶	小型 FWD を用いた土路盤の剛性評価に関する研究	上浦　正樹
河本　麗夏	ユニバーサルデザインの実現に関する基礎的研究	上浦　正樹
丸山　興冶	炭素繊維シートを曲げ補強材として用いた RC はりの曲げ耐力に関する実験的研究	高橋　義裕
源野　雄輔	明るさに着目した地下通路の快適性に関する研究	堂柿　栄輔
高坂　佳祐	北海道地方における二段タンク型貯留関数モデルによる流出解析	嵯峨　　浩

佐々木　龍	GIS と重回帰分析による北海道の Winter lndex の設定と雪氷管理の評価に関する研究	武市　　靖
根井　剛一	飽和粘性土の三軸凍上特性における拘束応力依存性および構造異方性に関する研究	小野　　丘
毛馬内　学	寒冷地道路舗装の凍上被害とその対策に関する研究	久保　　宏
一戸　哲明	特定非営利活動法人の「まちづくり」に関する活動実態と課題について ── 北海道の特定非営利活動法人を事例として ──	米森　文嗣

電子情報工学専攻

加藤　大樹	アイヌ語―日本語間対訳語の自動獲得における再帰チェーンリンク型学習の有効性について	桃内　佳雄
中岡　芳彰	再帰チェーンリンク型学習を用いた口語的書き言葉文から敬語表現文への自動変換システム	桃内　佳雄

2002年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
朝日　啓太	地震動による補修費用を考慮した鉄筋コンクリート構造物の最適耐震設計	杉本　博之
小川　直仁	北海道における「道の駅」の魅力度向上方策に関する研究	五十嵐日出夫
金岡　優樹	空港滑走路舗装のブリスタリング現象に関する研究	久保　　宏
金澤　雅博	寒冷地における空港舗装の温度特性に関する研究	久保　　宏
小玉　大樹	凍結・融解履歴を受ける飽和粘土の三軸凍上および非排水せん断特性に関する研究	小野　　丘
小柳　俊敬	凍結防止剤によるコンクリート劣化に関する研究	久保　　宏
後藤　　晃	橋梁点検とユーザーコストを利用した北海道型簡易 BMS の提案	杉本　博之
平河内雄也	デジタル画像処理による冬期路面状態の判別に関する研究	武市　　靖
皆木　孝英	弾性波を用いた砕石路盤の剛性評価に関する研究	上浦　正樹
村上　健志	道路橋の耐震設計における日米比較および動的解析の有用性に関する研究	当麻　庄司
盛　亜也子	AHP における相対位置評価法の提案と都市環境の評価に関する研究	五十嵐日出夫
米谷　一心	意識距離の短縮効果を考慮した歩行空間の創出に関する研究	五十嵐日出夫
氏家　伸孝	廃タイヤの弾性舗装材料への利用に関する研究	武市　　靖
兒玉健太郎	ウェーブレット解析を用いた鉄道の軌道狂いに関する研究	上浦　正樹
鈴木　康宏	コンクリートの凍結融解作用に及ぼす乾燥・吸水の影響に関する一実験	杉山　　雅
根本　昭宏	鉄道騒音の不快感に関する社会調査	佐藤　哲身
佐藤　勝利	寒冷地における住宅用換気システムの有効利用に関する基礎的研究	佐々木博明
電子情報工学専攻		
大友　雄介	アイヌ語から日本語への漸進的な機械翻訳に関する基礎的研究	桃内　佳雄
三船　雄都	デジタルホログラフィを用いる電子透かし技術の研究	髙井　信勝

2001年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
上田　真一	雪寒地道路舗装における設計凍結深さの算定に関する研究	久保　　宏
斉藤　裕俊	RC ラーメン高架橋の最適耐震補強設計及び最適耐震設計について	杉本　博之

首藤　諭	北海道の橋梁のユーザーコストとライフサイクルコストにおけるユーザーコストの影響について	杉本　博之
田川　博憲	積雪寒冷地における排水性舗装の熱的性状および路面凍結の検地・予測に関する研究	武市　靖
竹澤　晋一	鉄道駅における駅らしさに関する研究	上浦　正樹
深谷　勇気	２車線道路における短い４車線区間の最適設置計画について	堂柿　栄輔
村部　剛史	鋼製門型ラーメン橋脚の耐震システムに関する研究	杉本　博之
青木　泰裕	寒地住宅における換気排熱利用型ヒートポンプによる暖房に関する基礎的研究	佐々木博明
河合　康晴	低温環境下におけるコンクリートの収縮性状に関する基礎的研究	杉山　雅
佐々木良滋	コンクリート養生用新温熱シートの住宅基礎コンクリートへの適用研究	杉山　雅
林　義覚	寒地住宅における電気ボイラーによる温水セントラル暖房の研究	佐々木博明
電子情報工学専攻		
木村　泰知	遺伝的アルゴリズムを用いた帰納的学習による音声対話処理手法	桃内　佳雄
清水　祐輔	多重プログラム型 Tierra の新化メカニズムに関する研究	桃内　佳雄

2000年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
見延　聡	山地流域の水涵養機能の比較研究	山口　甲
宮原　優	Winter Index の導入と多変量解析による道路雪氷管理の評価に関する研究	武市　靖
村上　哲美	公共施設に付属する路外駐車場の管理・運用について	堂柿　栄輔
倉　真也	軸方向圧縮力と不等端曲げモーメントを受ける梁柱部材の座屈安定照査式に関する検討	当麻　庄司
藤谷　慎	小さなまちの中心市街地活性化と TMO 活動に向けて ── 北海道５万人以下市町村を中心に ──	上田　陽三
込山　亮	寒地住宅におけるホルムアルデヒトの実態と除去対策及び VOC の実態の研究	谷口　博
電子情報工学専攻		
松原　雅文	文字情報縮退方式を用いた帰納的学習によるべた書き文の数字漢字変換手法に関する研究	桃内　佳雄

1999年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
伊藤　智明	廃棄ビニルシートの凍上対策路盤材への活用に関する研究	久保　宏
加藤　幸輝	融解履歴を受ける飽和粘性土の物性に関する基礎的研究	武市　靖
佐藤　豪	マイクロ波加熱養生によるコンクリートの早期強度判定に関する基礎的研究	杉山　雅
鈴木　聡士	Shopping Complex の都市計画論的研究	五十嵐日出夫
坪谷　康弘	遺伝的アルゴリズムによるトラス構造物の最小重量設計に関する基礎的研究	真柄　祥吾
電子情報工学専攻		
五十嵐拓郎	屋内廊下環境における自律移動ロボットナビゲーション ── 自己位置確認と事前危険予測 ──	深谷　健一

工藤　晃一	学習型機械翻訳手法に適用された遺伝的アルゴリズムへの制約に関する研究	桃内　佳雄

1998年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
上野　順也	土砂生産量の支配因子に関する研究	山口　　甲
黒田　保博	道路橋の相対荷重評価に関する有義荷重の提案	当麻　庄司
佐渡　知典	古タイヤチップによる凍上対策工法への適用に関する研究	久保　　宏
田中　寿明	ノーマライゼーションのための交通計画に関する研究	五十嵐日出夫
東本　靖史	考古学的見地から見た土木計画の慣性力に関する研究	五十嵐日出夫
出口　　哲	室内温熱環境でのPMV評価に関する研究	谷口　　博
劉　宏　濤	寒冷期に施工するマスコンクリートの強度管理方法の基礎的研究	桑原　隆司
劉　　清	鉄筋コンクリート造矩形断面梁のねじりモーメント強度の実験値とACI CODE式による計算値との比較に関する研究	小幡　　守

1997年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
片桐　章憲	GAによる被災ライフライン網の災害復旧プロセス支援に関する研究	杉本　博之
鈴木　　巧	鋼道路橋の鋼重データに基づく構造的特徴の分析	当麻　庄司
宮下　成秀	顔料添加コンクリートの強度及び凍害に関する研究	久保　　宏
柳沢　吉保	都心部でのタクシーの路上駐停車の現状と街路周回交通量の推定	堂柿　栄輔
電子情報工学専攻		
久保　和也	上半視野と下半視野における視覚認識の相違について	山ノ井髙洋
笹岡　久行	辞書未登録語の訳語推定手法に関する研究	桃内　佳雄
中嶋　康晴	空気流を伴う音声放射過程の特徴計測に関する研究	桃内　佳雄
畑　　剛志	人工膝関節コンポーネントの多層化による頚骨の負荷軽減 ── 三次元有限要素法を用いた応力解析 ──	山ノ井髙洋
豊島　　恒	計算機による３Ｄ画像表現とその視覚認識	山ノ井髙洋

1996年３月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
三田村大松	塑性ヒンジ解析における精度の改善に関する研究	当麻　庄司
森戸　和宏	設計荷重の決定法に関する研究 ── 有義荷重設計法と道路橋活荷重モデルの作成 ──	当麻　庄司
矢部　博司	有限要素法による鉄筋コンクリート梁の２次元非線型解析に関する基礎的研究	小幡　　守
電子情報工学専攻		
池田　雅敏	ファジイ理論におけるモデリングの研究 ── 否定的感覚を考慮したファジイ投票の提案と数値実験 ──	河口　至商
越前谷　博	遺伝的アルゴリズムを用いた実例からの帰納的学習による機械翻訳手法	桃内　佳雄
蔵本　俊男	知的情報処理の事例研究 ── ファジイ理論による多元的投票・選択支援システムについて ──	河口　至商
寺尾　智彦	熟練者と初級者の比較にもとづく視覚判断時の眼球運動解析	山ノ井髙洋

山下　隆史	日本語文章解析システム構築のためのワークベンチの開発	桃内　佳雄

1995年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
高松　　潤	鋼骨組構造物の設計に関する問題点とその対策 ── 有効座屈長を用いない設計について ──	当麻　庄司
西端　紀次	鋼骨組構造物の弾塑性２次解析に関する研究 ── 限界状態設計に適した解析法 ──	当麻　庄司
電子情報工学専攻		
加賀谷恭志	２次元面発光アレーレーザのタルボ像に関する研究	髙井　信勝
寺下　明広	強誘電体の自発分極の精密計測に関する研究	山下　晴康
田中　栄治	仮想空間表示システムの構築とその視覚実験への応用について	山ノ井髙洋
瀬戸　謙介	ヒト全下腿骨における海綿骨の影響の検討および人工膝関節コンポーネントの形状の評価	山ノ井髙洋

1994年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
江頭　　渉	土木構造物の凍上対策に関する研究 ── 用排水路の凍上対策に関する研究 ──	久保　　宏
丸山　浩司	山地河川の土砂生産に関する研究	山口　　甲
鈴木　貴幸	鋼骨組構造物の限界状態設計法に関する諸検討	当麻　庄司
電子情報工学専攻		
古澤　正三	頸骨関節面荷重負荷時のヒトおよびブタ全下腿骨の応力・歪について ── 歪ゲージによる実験と計算機シミュレーションとの比較 ──	山ノ井髙洋
冨永　　睦	名詞述語文からの概念学習システム ── パス簡約化規則と継承の処理 ──	桃内　佳雄
高橋　祐治	帰納的学習によるべた書き文のかな漢字変換における語の読みと表記の獲得	桃内　佳雄

1993年 3 月修了者

	論　文　題　目	指導教授
建設工学専攻		
坂西　太郎	社会資本の整備と都市利便に関する意識調査	神山　桂一
阿部　克紀	建築解体工事・建設廃棄物に関する考察（札幌市を題材として）	神山　桂一
電子情報工学専攻		
竹田美香子	図形と文からの概念獲得のための概念表象	桃内　佳雄
佐々木淳一	名詞述語文からの概念学習システム（比喩と継承の処理）	桃内　佳雄
渡部　　聡	人工膝関節コンポーネント開発のための基礎研究	山ノ井髙洋
高柳　　浩	視覚情報処理における眼球運動とその応用	山ノ井髙洋

北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」に関する規定

（趣旨）
第１条　本大学院工学研究科は，大学院工学研究科の教育・研究を助長し，その成果を発表するため，北海学園大学大学院工学研究科紀要「工学研究」（以下，『工学研究』という）を発行する．

（発行）
第２条　『工学研究』は，毎年１回発行し，発行者は工学研究科とする．

（内容）
第３条　『工学研究』は，次の各号に該当するものを掲載する．
一　研究成果
⑴　研究解説
⑵　研究報告としての研究論文，研究ノート，研究資料など
⑶　博士（後期）課程修了者の博士論文概要および研究成果
⑷　修士課程修了者の修士論文概要および研究成果
⑸　その他編集委員会が適当と認めた研究成果
二　活動報告
プロジェクト研究報告，産学官共同研究報告など
三　その他編集委員会が適当と認めたもの

（『工学研究』編集委員会）
第４条　『工学研究』を編集するため，『工学研究』編集委員会を置く
２　編集委員会は，大学院工学研究科長および専攻主任と専攻副主任の５名で構成するものとする．
３　編集主任は，研究科長を除いた委員の中から委員の互選にもとづいて，研究科長が委嘱する．
４　編集委員会は，編集主任の招集によって開催する．

（編集委員会の審議事項）
第５条　編集委員会は，次の事項について審議する．
一　発行の形式
二　編集の方針
三　掲載論文・報告などの編集
四　その他『工学研究』の編集に必要な事項

（募集）
第６条　編集委員会は，毎年度１回論文・報告などの募集を行わなければならない．

（著作権）
第７条　『工学研究』に掲載された研究成果の著作権（著作財産権，Copyright）は，工学研究科に帰属する．
２　ただし，『工学研究』に掲載された研究成果の執筆者が，この研究成果などをもとにした著作・論文集を刊行する場合，工学研究科は無条件でこれを認める．この場合，執筆者は工学研究科に対して許可を求める必要はないものとする．

付則　本規定は，平成 14 年４月１日から施行する
付則　本規定は，平成 16 年１月１日から施行する．
付則　本規定は，平成 28 年４月１日から施行する．